

「どんぐり北広島ソフトテニスクラブ」 によるまちづくり

主催：一般財団法人どんぐり財団

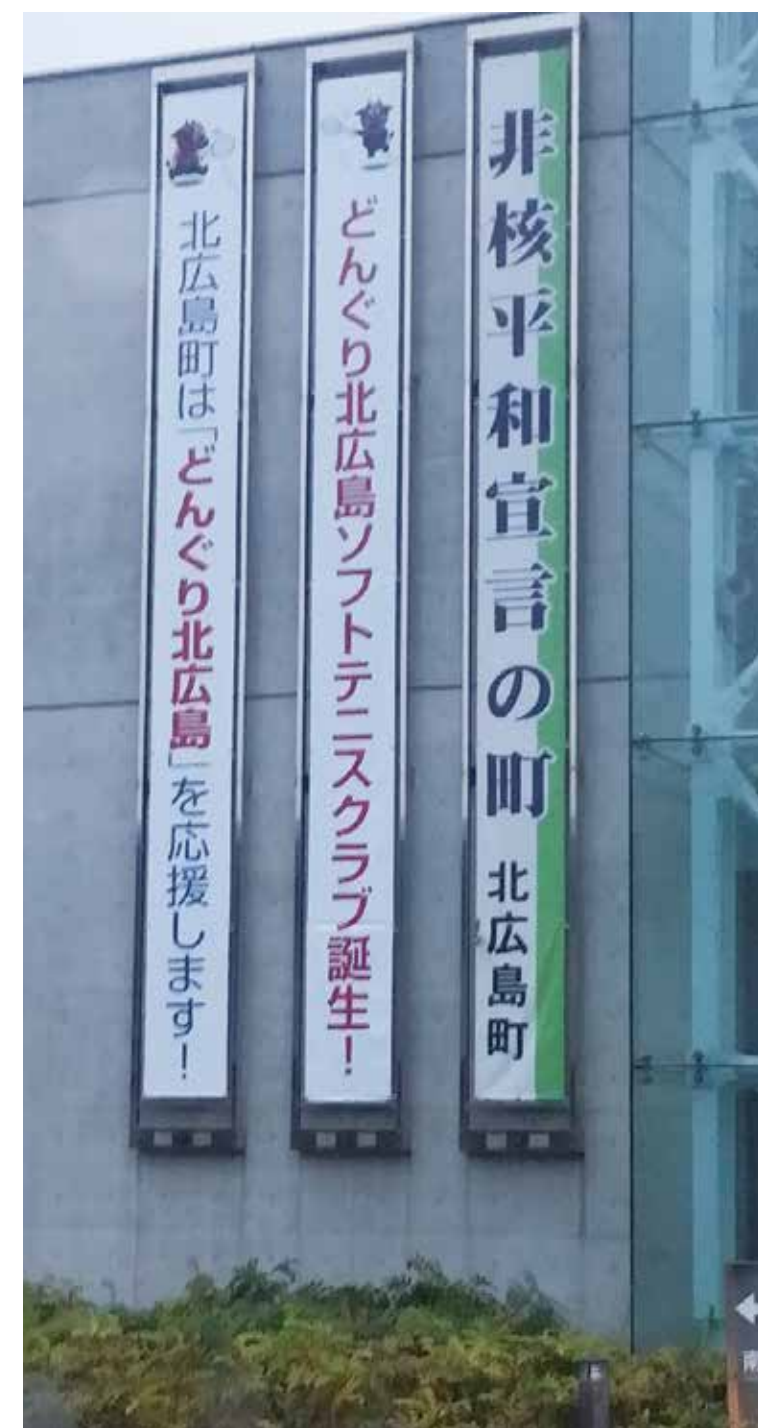
<http://donguri-softtennis.jp/>

どんぐり北広島ソフトテニスクラブは、町内の地域活性化の核となってきた。ホームコートの運動公園は、活気にあふれ週末にはたくさんの強豪チームが全国から訪れ、合同練習や合宿を行う。このことは近隣宿泊施設の活性化にもつながっている。

29年度に行われた社会人大会では、韓国からチームが訪れ、町内初の国際大会となった。韓国チームの来日は、地域の小学生や住民との交流にもつながり、今後のクラブを活用した国際交流の基盤づくりとなった。クラブの存在は、地域住民の活力にもつながっており、住民は自作のお米や野菜、手料理を提供し選手をサポートしている。近隣の大会へは、バスツアーを組み応援に駆け付ける。

今後は、働き盛り世代、障がい者を対象としたソフトテニス教室を計画しており、誰もがソフトテニスに親しめる環境づくりを目指す。また、町内公立高校の定員割れが続く中、生徒確保に向けた特色づくりの一環としてソフトテニスを核とした学校運営を目指す動きも出てきている。

町としてもふるさと納税を活用したクラブ支援の準備を進めており、町民全体でクラブを支援する仕組みづくりも整えられてきた。2020東京オリンピックパラリンピック開催を契機にクラブを核とした国際交流と地域活性化を目指す。



電話 :0826-84-1414

メール : m-sekiguchi@toyohira-wing.jp

担当者：関口 昌和

ジュニアトレイルランニング

野山を駆け回ろう!ジュニア世代の
為のトレイルランニングレース!

主催 : FUJIO PROJECT

<https://www.jr-trail-running.com>

ジュニアトレイルランニングは、未就学児～中学生を対象とした、山道などの不整地で行うランニングの大会である。スポーツを楽しむ経験とアウトドア体験を通して、運動能力・持久力だけでなく、危険回避能力や譲り合い・助け合いの精神を子供たちに身に付けてもらうことが目的である。

保護者の部門も設けており、かつ近隣の方々のボランティアを中心に運営しているため、多くの大人の健康増進や家族交流・地域交流の場ともなっている。日常的に活用されているとは言えない場所が会場となることが多く、大会を開催することでその場所への関心を高め、その魅力の再発見や整備活動へと繋がっている。

2011年から東京をはじめ、神奈川、山梨、千葉、長野などで計25回開催し、地域メディアに取り上げられることもあり、認知度が上がっているため、参加希望者は年々増加している。開催地から離れた県からの参加や、日本在住の外国の方々の参加も増えている。そのためお土産の購入・食事・宿泊など、さらなる地域振興にも貢献している。開催にあたっては、地域自治体との事前協議・周知を徹底しており、また、協賛企業の後援や参加費をベースに実施しているため、安全でかつ長く持続可能な活動となっている。子供たちの健全な成長と地域活性化の要素を併せ持つ大会である。



電話 :090-5305-7773 メール : fujio.miyachi.1130@gmail.com

担当者 : 宮地 藤雄(みやち ふじお)

ツアー・オブ・奈良・まほろば

サイクルを通して奈良県大和高原地域の魅力にふれよう!

主催：ツアー・オブ・奈良・まほろば実行委員会

<https://www.tourofnara.com/>

『ツアー・オブ・奈良・まほろば』は、奈良県と県大和高原地域の市村及び県内の自転車関係団体や自転車愛好家が連携・協力し、自転車を活用した滞在型、周遊型観光の促進とそれによる地域活性化を目指して平成25年にスタートした。

本大会は、奈良県スポーツ推進計画の大きな柱となる「スポーツによる地域振興」においても、本計画の施策における代表的なスポーツイベントに位置づけられている。回を重ねる毎に、地域住民の理解を得られるようになり、各エイドスポットにおける参加者への「おもてなし」では、地域の自発的な協力を得られるまでになっている。

今年実施の第6回大会では、2～5名のチームでチェックポイントを自由に巡るスタンプラリー形式の「チームハッピーライド」により開催するほか、各コースに「グルメ」、「ツーリズム」、「上級者向け」のテーマを設けることにより、各地域の地形や産業の特色をより反映できるよう発展させている。

また、今年は初めて、アドバイスを受けながらプロ選手とともにサイクリングを楽しめるだけでなく、夜には選手とともに前夜祭に参加していただける前日イベントを開催する。参加者の宿泊促進、さらには普段接することのできないプロ選手と直接ふれあうことによる、自転車競技の裾野の拡大や自転車利用の促進を目的としている。



電話：0742-27-9863

メール：sports@office.pref.nara.lg.jp

担当者：毛利

伊勢志摩国立公園指定70周年記念 志摩半島トレイルランニングレース ～from the Ocean to Mountains～

走り切ったぞ!!

主催：志摩半島トレイルランニングレース実行委員会、株式会社スコルチャ三重

共催：伊勢市、伊勢市教育委員会、鳥羽市、一般社団法人スポーツコミッション

<http://sun-arena.or.jp/>

2012年伊勢の森トレイルランニングレースから始まり、2016年に伊勢志摩国立公園指定70周年記念大会として「志摩半島トレイルランニングレース」を開催する事となり、伊勢市・志摩市・鳥羽市の3市の協力のもと、3市を縦走するコースとなった。ただ、未開の地でルートを切り開いていくには多大な労力が必要で、地元の方、ボランティアスタッフの協力のもと数か月の整備でようやくコースが繋がった。

そしてそのコースを、県内外から約700名の選手に走っていただき、当日200名ものボランティアスタッフに大会を支えていただいた。大会当日には各市町の地元の方にも沿道等へ応援に駆けつけていただき、普段は静かな町も活気に満ち、参加者の多数の方々に志摩半島、また伊勢志摩国立公園の自然の豊かさを十分に知っていただけた。今後は、伊勢の森トレイルランニングレースとして大会は継続しますが、大会への取り組み方、また地域活性化、地元の山や伊勢志摩国立公園を皆様に知っていただく想いは変わらずに大会は継続していく。



電話 :0596-22-7700

メール :mie@sun-arena.or.jp

担当者：伊藤 大輔(いとう だいすけ)

日光国立公園 マウンテンランニング大会

現代のスポーツを通して伝統と歴史を発信する

主催：日光トレイルランニング実行委員会

<https://www.nikkorun.com/>

日光国立公園マウンテンランニング大会は、2015年に機に発起人である佐々木理人を中心とするメンバーが立ち上げた大会です。地元中心の実行委員会で組織しており、地域の特徴を活かしたコース作りや大会運営に努めています。特徴は国立公園や世界遺産がコース内に含まれていること。日光は文化や歴史に目が行きがちになるが、自然が色濃く残っているので、新たな魅力を発信するためにコースの要所には、美しい景色が一望できる場所などを用意しています。これまで利用されてこなかった旧霧降スキー場や旧霧降牧場跡地を利用しており、地域で埋もれていた資源を利用しています。今では、大会の名所となっていて選手のみなさまに喜ばれています。

今後は、この大会は国内大会としてだけでなく、外国人選手を誘客するためのコンテンツになり得ると実感しています。現に大会では東南アジアをはじめ、欧州などの外国人選手も徐々に増加傾向にあります。これからも継続していき、皆様から注目していただけるような大会のモデル造りを目指していきたいと思っています。



電話：080-5510-9857

メール：sasaki.rihtio@gmail.com

担当者：佐々木 理人(ささき りひと)

東尋坊愛のマラニック大会

走る旅は記憶に残り 心に宿す

主催：東尋坊愛のマラニック実行委員会

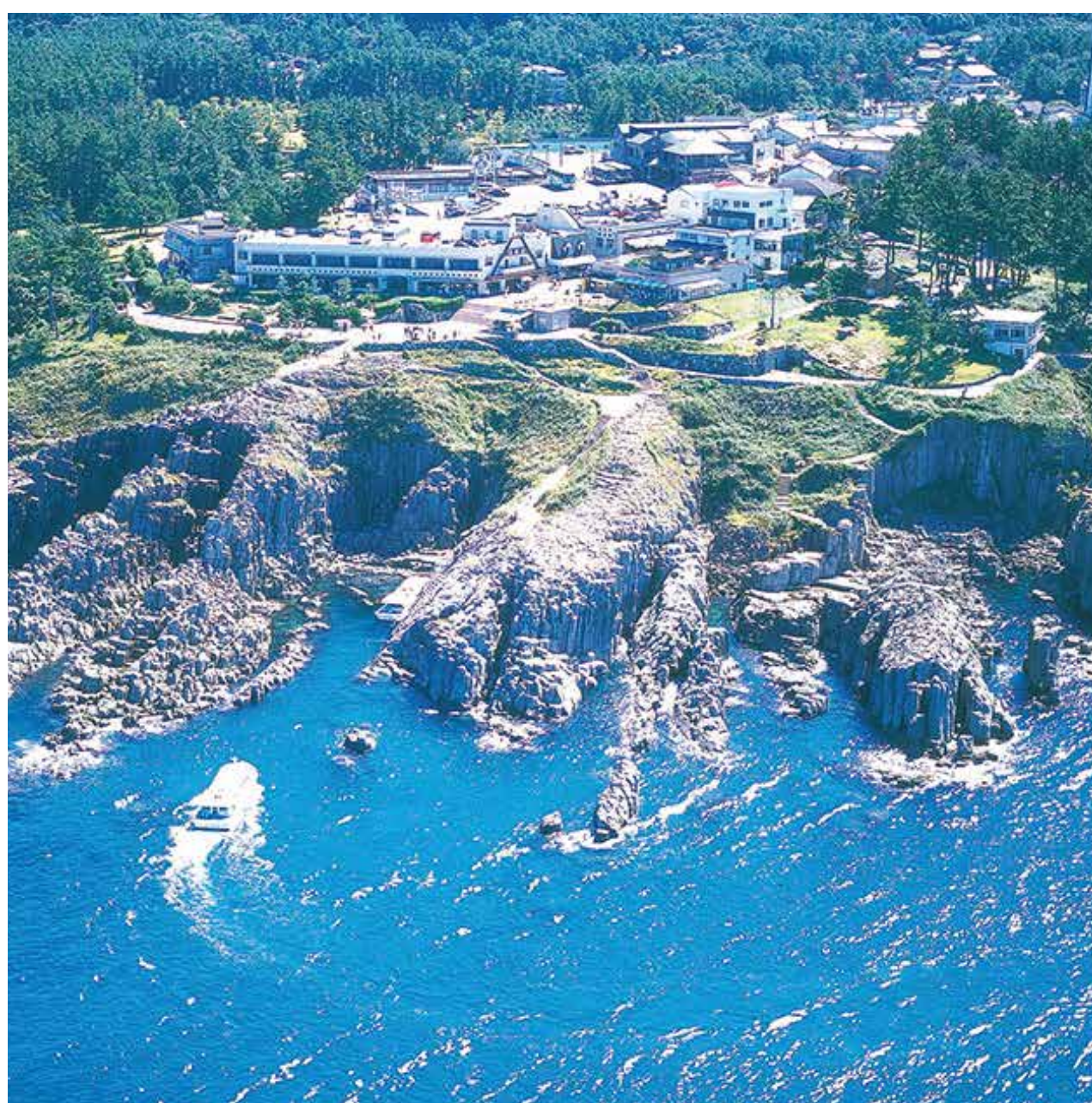
共催：東尋坊観光協会、ほか

<https://yypark.com/tojinbo100km/>

東尋坊と綾姫の恋物語を広めるために第6回東尋坊愛のマラニックを2017年5月27日(土)に開催した。東尋坊を5:00スタートの103kmの部、平泉寺9:00スタートの52kmの部があり、ゴール関門20:00までの完走目指して走りました。ランナー全員が完走できるような応援には5つあります。

- ① 5km毎のエイドでは地元スタッフが丹精込めた料理を提供。
- ② スタッフの笑顔と会話。
- ③ 音楽パワー。太鼓やほら貝・ブラスバンド・ディキシーランドジャズ・スティールパン等の音楽が聞こえてくると体が自然に動き出します。
- ④ 愛に溢れた大会運営。エイド毎の愛に因んだメニュー・愛を叫ぶスタートとゴール等、愛に励まされる大会です。
- ⑤ 大会も会を重ねると東尋坊仲間が出来てきます。東尋坊愛のマラニックと一緒に走った仲間が毎年大会で再会し完走しようと励まし合いながら走っています。

「走る旅は心に残る」というランナーの言葉は最高の褒め言葉。スタッフの笑顔が、音楽が、エイドの料理が心に残っていたんだなあ。もっと心に残る旅をこれからも工夫していきます。



電話 :080-4632-9430

メール : kf.nishide@gmail.com

担当者：事務局長 西出 憲榮

池田町の元気スポット

皆さんに筋トレの凄さ素晴らしさをお伝えしたい!

主催：特定非営利活動法人コンディショニングジム レッツ

<https://conditioninggymlets.jimdo.com>

特定非営利活動法人コンディショニングジムレッツは、筋力トレーニングを中心に様々な運動が出来、地域住民同士のコミュニケーションの取れる場を提供することで運動不足解消、介護予防に繋げる事で、ADL(日常生活動作)QOL(生活の質)の向上を目的として活動しています。

当ジムは、幅広い年齢層の方に利用して頂く為に、お1人の入会で同居家族全員がジムを無料で利用することが出来るシステムになっています。ジムと言うと中高年の女性の方が多いイメージがありますが、当ジムでは同居家族全員無料の為、ご夫婦で、親子で、お孫さんと言ったように幅広い年齢層の方が通い、男性の利用数が多いです。男性の方は、お仕事を引退されてから引きこもりがちになる方が多く、家から出かけるきっかけとして当ジムを利用して頂くことで運動が出来、介護予防に繋がっています。

今後も継続的に運動が出来る場、脳トレ(送迎付きの教室)が出来る場、コミュニケーションが取れて集える場を提供することで地域振興への貢献、これらがのちの医療費、介護費等の削減に繋がり、運動には幅広い様々効果があることを広く知って頂き、皆がいつでも自由に体を動かせる場にしていきたいと考えています。



電話 :0585-52-9780

メール : conditioninggymlets@gmail.com

担当者：須貝 憲太郎(すがい けんたろう)

階段垂直マラソン 「ミッドランド チャリティー スカイラン」

名古屋駅前に建つ高さ247mの超高層ビル
「ミッドランドスクエア」の頂上を目指して、
階段数1,197段を自分の足のみで
チャレンジする階段垂直マラソン大会

主催：ミッドランド チャリティー スカイラン実行委員会

<https://nagoyavr.wixsite.com/mcs2018>

この大会は、名古屋駅前の超高層ビル「ミッドランドスクエア」(中部地方最高の247m)の頂上を目指して、階段数1,197段を登る階段垂直マラソン。全国から1,145人が参加し、テレビや新聞で大きく報道されました。参加費の一部(100万円超)は、知的障がい者の大会である「2018年第7回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・愛知」に寄付しています。階段を使用した大会は生活習慣病対策の切っ掛けづくりになるほか、大会参加後の観光や飲食を促すことで地域活性化にも寄与しています。

また、この大会には、「する」、「観る」、「支える」の3つの観点で多くの方が参加しました。7歳～73歳と幅広い年齢層の方が競技に参加したほか、インターネットを通じた観戦が可能で、社会人と学生が交流した形でのボランティア活動の舞台にもしています。視覚障がい者の方2名も完走しています。実行委員会には、企業、メディア、行政職員が参画。得意分野を活かす形で連携し、行政の補助金を受けることなく、参加料、スポンサー料、主催者負担で大会運営資金を確保しています。

今後も大会を通じて、名古屋駅前の活性化や障がい者アスリートの支援をしていきたいと考えており、来年度の開催に向けて準備中。さらには、障がい者の参加拡大や、日本における大会の普及促進も考えています。



電話 :090-4194-2116

メール : tokubun_yamahida@pref.aichi.lg.jp

担当者 : 山肥田 徳文(やまひだ とくぶん)